



平成 26 年 10 月 1 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名
東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
インベスコ・オフィス・ジェイリート投資法人
代表者名 執行役員 松本吉史
(コード番号 3298)

資産運用会社名
インベスコ・グローバル・リアルエーステート・
アジアパシフィック・インク
代表者名 日本における代表者 辻 泰 幸
問合せ先 ポートフォリオマネジメント部 甲 斐 浩 登
J-REIT 担当部長
TEL. 03-6447-3395

地震リスク分析における予想最大損失率（PML値）の更新についてのお知らせ

インベスコ・オフィス・ジェイリート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、保有する運用資産について、地震リスク分析におけるPML値（注）の算定を損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント株式会社（以下「評価会社」といいます。）に依頼しています。今般、評価会社における地震リスク分析の評価手法が更新されたことに伴い、更新後のPML値の報告を受けましたので、下記の通りお知らせします。なお、評価会社による報告の内容は、評価会社の意見に過ぎず、本投資法人がその正確性を保証するものではありません。

記

1. 更新後の PML 値

物件 番号	物件名称	PML 値 (%)	
		更新前	更新後
1	恵比寿プライムスクエア	1.95	2.35
2	晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーZ	1.95	2.60
3	CS タワー・CS タワーアネックス	3.93	3.21
4	クイーンズスクエア横浜	6.01	2.96
5	名古屋プライムセントラルタワー	4.32	3.61
	ポートフォリオ PML 値	3.63	2.09

(注) 「PML値」とは、想定した予定使用期間（50年＝一般的建物の耐用年数）中に想定される最大規模の地震（475年に一度起こる可能性のある大地震＝50年間に起こる可能性が10%の大地震）によりどの程度の被害を被るかを、損害の予想復旧費用の再調達価格に対する比率(%)で示したものを意味します。また、「ポートフォリオPML値」とは、ポートフォリオ全体に対して個別物件と同様にPML値を求めた数値をいいます。

2. 地震リスク分析の評価手法の更新について

今回の評価方法の更新について、本投資法人は評価会社から以下の説明を受けています。

更新前のPML値は、2007年に評価会社が開発したシステムにより評価したものです。その後、文部科学省を中心とした地震の研究や諸学会等による地震リスク及び地盤性状の研究の成果により新たな知見・技術が集積されています。

このたび、さらなる適正な地震リスク分析を目的として、前記の知見・技術と評価会社の地震リスク分析のノウハウを併せて、評価手法を更新しました。

以上

※本投資法人のホームページアドレス：<http://www.invesco-reit.co.jp>